

# 松山市教育会情報

発行所 松山市教育会  
松山市祝谷町1-5-33  
☎ 089-933-0354  
発行者 松田邦雄  
編集 調査研究部

## 心のよりどころ「ふるさと」教育を



副会長  
楠本雅人



「子規さん俳句かるた」より

松山市教育委員会 編  
松山市立子規記念博物館 監修

育ったところ 必ずしも家庭ではない。心を育てられたところが 家庭である。

学んだところ 必ずしも学校ではない。よき師よき友にめぐり会えたところが 学校である。

生まれたところ 必ずしも故郷ではない。心をとどめたところが 故郷である。

さて、皆さんは、それぞれ懐かしいふるさとをおもちだと思います。ふるさとを懐かしく大切に思うのは、なぜでしょうか。それは幼い頃に心のつながりや人との関わりがあったからこそ、そう思えるのではないのでしょうか。子どもたちは、学校の中だけで育つものではありません。子どもたちにとって、生まれ育った家庭・学校・地域こそが大切な「心のふるさと」なのです。家庭や地域の中で汗を流したり、知恵を出し合ったりすることで多くのことを学びます。文頭に掲げた言葉は、人が真に成長する環境とは、心のよりどころとなる場所であると教えてくれています。

家庭・学校・地域の連携協力が叫ばれて久しくなります。三者がそれぞれの立場で子育ての責任を相応に分担し、社会全体で優しく厳しく人の心を育まなくては、家庭も学校も地域も子どもの心には『ふるさと』として宿らずに大人になってしまうのかもしれない。

子ども社会を取り巻く環境は、子どもたちの成長に大きな影響を及ぼします。それゆえに、子どもたちの生活する環境を人的・物的に整え、充実させていくことは、大切なことだと考えます。家庭・学校・地域それぞれの環境を、子どもの立場に立って見直し、より良い姿にすることができれば素晴らしいことでしょう。そして、そういう前向きな大人の姿勢や考え方は、きっと子どもたちにも伝わるものと思います。

国際化・情報化の進展の中で、子どもたちは住み慣れた町や日本を離れる時もあります。そんな時に、ふと親や兄弟のこと、先生のこと、友人のこと、故郷の山河のことなどを懐かしみ、郷愁あるいは望郷の念にとらわれることがあるでしょう。それはきっと、ほろ苦い喜びや幸せに違いありません。

「地域の人々と共に活動することは、子どもの心にふるさとをつくる。」ことになるのだと思います。共に活動することで、彼らが大人になった時、地域に貢献するようになったり、地域の中にたくさんの顔見知りをつくったりすることになります。この過程は、子どもたちの健全育成に欠かせないものだと思います。

# 平成25年度 教育功労者 松山市教育会



松山市教育会では、本年5月17日の松山市教育会定期総会において、以下のとおり、3氏に第47回教育功労賞を贈り、表彰しました。

## 菅田 顕氏

平成11年度から15年の長きにわたり清水支部の支部長を務め、支部活動の活性化に多大の貢献をした。その間平成14年度から4年間は松山市教育会の会長として、平成22年度から2年間は理事として、松山市教育会の充実発展をリードしてきた功績は大である。また、愛媛県小中学校校長会の事務局長、日本教育会愛媛県支部の事務局長を歴任するなど、愛媛県の教育を多方面から支えてきた。さらに、平成18年度から現在まで、清水小学校の学校評議員を務めるなど、教育界全般に尽くしてきた実績は絶大なものがある。

## 大塚 安彦氏

松山市教育委員会において指導主事や指導係長、中予教育事務所において管理主事を務め、教育行政の立場から愛媛教育の伸展に大きく寄与した。カルカッタの日本人学校に3年間勤務し、日本の文化に誇りを持つとともにコミュニケーション能力の重要性を理解し、その後の教育実践に経験を生かしてきた。愛教研の国際理解教育委員長として国際理解教育の推進に貢献

するとともに、愛教研論文審査委員として教職員の論文の審査に携わった。また、松山市中学校長会会長として、中国・四国中学校長研究大会愛媛大会の運営の中心的な存在として活躍し、大会を成功に導いた。校長としては、日頃から生徒のことを最優先に考え、「命の教育」を柱とした学校経営に取り組み、多大の成果をあげた。

### 藤本 宣彦氏

松山市教育会の評議員や味酒支部の班長を長年務め、人間関係を密にして会の活性化を図った。ブロック活動にも積極的に関わり、二の丸・美術館探訪、坊っちゃん劇場での観劇、毎月市内の名所旧跡を巡る「わいわい三水会」への貢献度は多大である。また、松山市交通安全推進協議会の交通指導員として、年4回「20日」の前後3日間、7時20分から8時10分まで交通指導に従事するとともに、松山祭、交通安全大会、愛媛マラソン、味酒小自転車教室等で交通安全指導に尽力した。さらに、退職すると同時に松山市退職公務員連盟味酒分会長、本町3丁目町内会長、松山市広報委員等を引き受け、地域をつなぐリーダーとして活動を続けている。

「愛媛県教育会の沿革」によれば、昭和41年、愛媛県教育会が設立され、昭和42年5月30日の第3回総会において、第1回教育功労賞が贈られたと記載されています。ちなみに、第1回受賞者は、大倉可貴氏、大内三郎氏、松岡進氏、越智勇氏の4氏となっています。

松山市教育会では、「松山市教育会 教育功労者表彰規程」により、毎年7人以内で受賞者を選考し、表彰しています。

#### 「松山市教育会 教育功労者表彰に関する規程」より

第1条 この規程は、松山市教育会会則第4条第4号に基づく事業を行うために定めるものである。

#### (目的)

第2条 この表彰は、会員の中で、学校教育及び社会教育の伸展に著しく貢献した個人または団体に対して、その功績をたたえるとともに会員の意欲の高揚を図り、松山教育の向上発展に寄与することを目的とする。

#### (内容)

第3条 表彰は、次の功績に対して行う。

- 1 学校教育について、顕著な功績のあったもの。

(学校経営、学級経営、各教科及び教科外等の研究や実践)

- 2 社会教育について、顕著な功績のあったもの。

(各種の社会教育活動、学校と家庭、社会との関連に関する教育活動)

(一部抜粋)

## 第7回 教育講座 ①



### インターネットや携帯電話のトラブルから 児童・生徒をまもるために ～ネット問題の現状把握とその対策～

講 師 愛媛県総合教育センター 情報教育室

指導主事 國久保 浩二 先生

平成26年7月31日（木）午前10時から、文教会館において、約30名が参加した。

松山市教育会松田邦雄会長の開会挨拶、続いて石丸正調査研究部長から講師紹介があり、教育講座が始まった。講座では、児童生徒を取り巻くインターネットや携帯電話のトラブルを防止するために必要な知識を、映像や演習を活用しながら身に付けるとともに、各学校における児童生徒への指導や保護者への啓発の在り方について研修した。

#### はじめに

情報モラル教育はなぜ必要か。…安心な日常生活は、法律やモラルがあるからこそのものである。

#### 1 情報の普及とトラブル防止に向けて

情報に包まれた現代、学校では、全教科でICTの活用がなされている。

インターネットの普及率を見よう。平成22年には世帯数の90%以上にインターネットが普及し、今の6年生が生まれた平成14年には、すでに80%以上に普及している。つまり、生まれたときからインターネットがそこにあり、「まず、インターネット」から始まる、そこに危険がある。人間関係をつくってからインターネットに関わる大人とは、大きな違いがあるのである。

携帯電話はどうだろう。平成14年には約60%、平成23年には90%を超える。うち、55%がスマートフォンのユーザーであり、年代別に見ると特に若者の率は高い。高校1年生では88%である。スマートフォンの特徴は、“アプリを入れて機能を拡張する” “どんなサイトにも無制限につながる”の2点。これに伴って、ウイルス感染（特にアンドロイド系は要注意）や情報漏洩対策が求められる。不正アプリは、便利ツールを装う、電池長持ちをアピールする、インストール時は正規なのにアップデートすると不正アプリに変化するなど、誘いは実に巧妙である。青少年の18.5%が、有害サイトのフィルタリングがかかっていないことから、ネットトラブルにあっているのだ。トラブル防止には、三つのフィルタリング「携帯電話会社のフィルタリング」「スマートフォン用のフィルタリング」「アプリ制限のフィルタリング」が必要となる。保護者が制限をかけるペアレンタルコントロールが必要であり、できないなら持たせないという選択が必要である。

#### 2 携帯・ネットでの事件

〈プロフで集団暴行殺人〉「友達になりたい」の言葉が敬語でないことに腹を立て、殺人。声のトーンや表情の伴わないところにすれ違いが生じる。相手に会って顔を見て話す必要。ネット上でのやりとりは不毛なことがある。

〈ブログで死ぬと書かれ、自殺〉ネットいじめ「死ぬ」により不登校となり、自殺。人がいやがること、されたらいやなことをしない、ネット上でのいじめ、悪口、うわさ話を書いたり送ったりしないという日々の指導が大事である。

〈掲示板への無責任な書き込み〉殺人予告など。誰が書いたか分からないだろう、驚かそう、騒ぎになると面白いなどは通じない。すべて検挙・逮捕。

〈SNS投稿〉ピザ生地を顔に貼り付けて投稿など。きっと仲間しか見ないだろうとの安易さが、結果として、閉店につながった。威力業務妨害、損害賠償などが検討される。

☆ 無責任な情報発信は許されないという、まさにモラル教育が必要である。ログが残るので投稿者は必ず特定でき、一度投稿すると無数にコピーされ削除不可能であることを知ろう。

### 3 ネット上のツールあれこれ

ツール	特徴	トラブル	対策
チャット	文字入力し、リアルタイムでやりとり ゲーム機でも会話できる	ゲームサイトやオンラインゲームで知り合い、同じ話題で盛り上がり、誘い出す(子どもが利用するコミュニティーサイトが出会い系サイトの8倍)	絶対に会わない
ブログ	映像を投稿 自分の情報を発信	住所を書き込まなくてもGPS機能情報が流出し、撮影場所を特定。ストーリーカー被害にあう	個人情報をネット上に載せない、一度載せると回収不可能
SNS ソーシャル・ ネットワーキ ングサービス	自分と直接つながりのない人へと広がる(ミクシー、アメーバ、モバゲー、GREE、フェイスブック、ツイッター、グーグル+…)	ネット上のトラブルが、そのまま実社会でのトラブルに発展する 子どもがゲームをしているうちにアイテムをほしくなって購入する	何にでも返信しない
LINE	無料、スタンプ、会話内容が残る、既読が残る、グループで会話	常にチェックしていないと会話には入れない 5分ルール(5分以内に返信) ライン外し 過激なやりとり	安易につながりを作らない(アドレス帳との連携、LINE IDの公開、ID交換掲示板をしない)

※ パソコンの向こうにいるのは“人”である。マナーに注意!

※ 「あなただけに特別にすてきな情報を…」と罫は巧妙である。予備知識がないとパニックになる。やましいときは相談できない。撃退法は、返信・連絡をしない、無視することである。

### 4 その他

ウイルス感染、違法ダウンロード、著作権、特に、携帯依存症は深刻である。1日5時間以上使用というネット依存は50万人を超える。中高生の20%が、友達依存、ゲーム依存を訴える。共通のルール(9時まで、速攻レスにこだわらない、いじめはしない、悪口は書かない…)を作り、それを子ども同士で納得することが大事である。

### 5 まとめ

- ① 子どもたちに何を伝えるか… 被害者にも加害者にもならないためのマナー
- ② 保護者に何を伝えるか… 電子機器のメリット・デメリット、トラブル例、フィルタリング等を知り、ペアレンタルコントロールをすることが重要。知識を持つ、子どもは大人以上によく知っている。
- ③ 学校がすべきこと… 現状を理解し、冊子やセンターHP等を活用して情報モラル教育をしよう。

#### 【参加者の声】

- ・ 教師もスマホを持った方がいいか。…持てば、機能は理解できる。しかし、子どもと同じ気持ちを味わうことはできない。
- ・ 情報モラル教育の重要性が分かった。
- ・ ネットワーク社会の問題点や子どもたちの現状から見て、様々なトラブルが起こる可能性は大きいと考える。学校としてどのような取組をするか方向性をいただいた。
- ・ LINE、SNSなど、知識のない自分にも分かるように具体的に伝えていただいた。
- ・ 教育センターの情報を知ることができてよかった。

## 第7回 教育講座②



### 学校で役立つ心理技法 ～アンガーマネジメントの活用～

講師 愛媛県総合教育センター 教育相談室  
指導主事 わた なべ 渡部 たかし 俊 先生

平成26年8月6日(水)午前10時から、コムズにおいて開催。参加者約60名であった。

松山市教育会の松田邦雄会長の挨拶、白濁康隆副会長の講師紹介に続き、講座が始まった。内容は、現代的課題に対応するための具体的な教育実践に基づくものとして、カウンセリングの基本である傾聴の仕方について理解を深め、学校で活用できるアンガーマネジメント等の具体的な心理技法についてであった。

#### 1 アンガーマネジメントについて

アンガーマネジメントとは、anger=怒り、management=取り扱い(方)、怒りの管理・対処法のことである。

- ・教師のアンガーマネジメント：目的は、指導の適正化、指導力の向上(指導の行き過ぎの防止、体罰防止)にあり、研修により、教師自身が怒りの管理法を学び、身に付ける自己管理的意義がある。
- ・児童生徒のアンガーマネジメント：目的は、社会性の向上、対人関係の適正化(集団風土の醸成)にあり、授業、特別活動の時間等により、教師が教え、身に付けさせる心理教育的意義がある。

#### 2 怒りについて

##### (1) 怒りについての理解

人間にとって必要な感情の一つで、感情をもつこと(感じること)そのものに問題はないが、多様でいろいろな程度があるにもかかわらず、一様で単純に感じられやすい。また、二次的感情の背景には一時的感情(悔しい、悲しい、寂しい、分かってほしい、怖いなど)がある。怒りは、自尊心が損なわれたり支配欲求が満たされなかったりすると誘発され、疲れていたりストレスがたまっていたりすると起こりやすい。「自分は正しい」等の思い込みが強くて起こりやすいし、怒りを感じているときには、視野(思考の範囲)が狭くなり、判断力が鈍ったり、憎悪や偏見につながったりして、関係悪化の原因ともなる。

##### (2) 怒りの行動化についての理解

怒りは、解消しにくい感情で、行動化しやすく、威嚇・暴力などの攻撃行動として表出しやすい。対人暴力を引き起こしたり、家出、引きこもり、自殺企図などの行動として表現されたり、頭痛・腹痛、不眠等のかたちで身体化して表現される場合がある。

##### (3) 怒りの行動化のコントロール

怒りを感じた状況や原因と考えられる出来事を思い出し、文字化したり、点数化したりすると客観視しやすい。また、怒り感情の背景の気持ちに焦点を当て、自分の気持ちに合う言葉を丁寧に探し、言葉を当てはめて言語化するとコントロールしやすい。コントロールするためには、自分が怒るパターンを探し、怒りが発生するときの状況をシュミレーションしておいたり、

怒りの原因を考えたり、何に怒りを感じやすいか、自分の怒りは何に影響されやすいのかを知っておいたりすることも効果がある。具体的には、

- ① ストップシンキング  
余計なことを考えないで、全ての思考を停止する。心の中で「ストップ」と唱える。
- ② デイレイテクニック  
怒りの反応を遅らせる。心の中で別のことを思い浮かべることで落ち着きを取り戻す。
- ③ グラウンディング  
思考をくぎ付けにする。意識を一点に集中させる。例：相手の服の色
- ④ コーピングマントラ  
魔法の呪文を唱え、自分を落ち着かせたり勇気付けたりする。
- ⑤ タイムアウト  
その場を離れる。「〇時間後にもう一度話し合おう。」などと相手に伝えておく。

### 3 ストレスとコーピング（対処法）について

怒り要因から怒り感情を覚えたり、ストレス要因からストレス反応を起こしそうになったときに、その対処法を身に付けておくと、怒りやストレスが緩和・解消される効果がある。原因を考えて反省したり、まだ挽回できると考えたりする**認知的コーピング**と、反省内容をメモしたり屋上で大声で叫んだりする**行動的コーピング**の、コーピングレパートリーが多く、細分化するほど、怒りやストレスは、解消されていく。

### 4 認知行動療法について

人は、状況に伴う反応を改善するために、「認知」と「行動」を意図的にコントロールしている。「認知」が感情・整理・行動を導いていると考ええると、歪んだ認知が、不適切な感情や行動を導かないよう、修正や再学習をし、改善していくことができる可能性がある。要するに、考え方が問題を作り出しているということで、認知のコントロールで、人間は生きやすくなるということである。



同じ物を見ているのに、認知の仕方によって見える物が違う例

### 5 まとめ

教員の怒りをコントロールする鍵は、いろいろな手法もあるが、要は、「志」だと思う。目の前の子らの将来のためになるかという「志」の深さ、教員にとってそこが大事である。

#### 【参加者の声】

- ・ 子どもへの指導（不登校児、生徒指導配慮児）の参考にと思い、申し込んだ。でも、教師＝自分自身へのアンガーマネジメントが今の自分に大切だと思った。同僚・部下へのアンガーマネジメントをどうマネジメントしていくか。頑張れそう。
- ・ 自分を見つめる作業を通して、何となく感じていた自分自身への認知が深まった。自分を知ることが自分をコントロールすることにつながると感じた。
- ・ 具体的な事例を通して、アンガーマネジメントの必要性和認知を見直すことで感情や行動を修正できる（コーピングの方法・分析）ということが分かった。
- ・ 子どもを叱るときは、一度立ち止まって、行動の理由を考えたい。
- ・ 「コーピングのレパートリーは、多いほど、そして細分化するほどgood！」役立った。

## ブロック編成

区名	学 校 名	区名	学 校 名
1区	番町小、味酒小、八坂小、東雲小、清水小、姫山小、勝山中、東中	5区	堀江小、潮見小、久枝小、和気小、みどり小、鴨川中、内宮中、北中
2区	新玉小、雄郡小、素鷲小、桑原小、たちばな小、双葉小、拓南中、雄新中、桑原中、城西中	6区	湯山小、日浦小、道後小、湯築小、伊台小、五明小、道後中、湯山中、日浦中、旭中
3区	味生小、生石小、垣生小、余土小、味生第二小、さくら小、津田中、垣生中、余土中、西中	7区	浮穴小、石井小、荏原小、坂本小、椿小、石井東小、石井北小、久谷中、南中、南第二中、椿中
4区	三津浜小、宮前小、高浜小、興居島小、怒和小、津和地小、中島小、三津浜中、高浜中、興居島中、中島中	8区	久米小、小野小、北久米小、福音小、窪田小、久米中、小野中
		9区	浅海小、難波小、立岩小、正岡小、北条小、河野小、粟井小、北条北中、北条南中

### ブロック紹介

#### 第6ブロック理事 平野 忠司

第6ブロックは、道後・湯山・伊台・五明・日浦の5つの地区から成っています。県下を代表する観光地道後温泉や大きな団地、自然豊かな山里などを有する地域で、小学校6校、中学校4校に3,100名あまりの児童生徒が学んでいます。また、道後・湯築・湯山・伊台の4つの支部で68名のOB会員が活動しています。

本年度最初の活動として、平成26年8月19日(火)、にぎたつ会館において教育懇親会(昼食会)を開きました。会員の交流・親睦を図ることを目的に平成23年から実施しています。夏季休業中の開催は、学校が研修や地域行事等で忙しい日程を調整して計画できたものです。学校の特段の配慮を得て、9校から13名の参加を得、11名のOB会員と親しく懇談する会となりました。一人一人の自己紹介で始まった会は、現役会員からは各学校の現状や取組が報告され、OB会員からは温かい見守りの言葉がありました。その後、食事をしながら会員相互に親睦を深めたり、意見を交換したりすることができました。

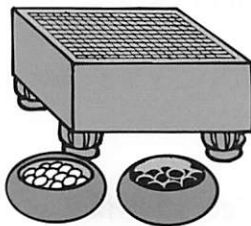
二つ目の活動は、10月23日(木)に予定している観劇懇談会です。初代道後湯之町町長として道後温泉本館の改修に挑んだ伊佐庭如矢を題材としたミュージカルを観たあと懇談会を計画しています。OB会員相互の親睦を深めることを目的としており、多くの参加を期待しているところです。

本年度の締めくくりは、1月に計画している会員懇談会です。酒を酌み交わしながら情報や意見を交換し、会員相互の親睦を深めるとともに、各支部の課題等を共有して支部間の連携を図り、次年度の活動への発展を期待するものです。

これらの活動を通して「支部活動及びブロック活動の充実・強化」に努めていきたいと思ひます。

### 囲碁・将棋教室のご案内

#### 福利厚生部



本年度囲碁将棋教室では、大場武志先生を講師にお招きし、20名の会員で毎月第1土曜日を基本に午後1時から活動しています。教室の開催予定は次の通りです。なお最終の3月には一年のまとめとして、囲碁将棋大会を予定しています

10月4日(土) 11月22日(土) 12月6日(土) 1月10日(土) 2月7日(土)  
3月7日(土) 囲碁将棋大会

興味のある方は市教育会事務局にご連絡ください。